



## ■木幡の大スギ

【国指定天然記念物・昭和16年指定】

隠津島神社境内の門神社北側にある、推定樹齢800年といわれる杉の巨木。根元の周囲16.20m、目通り周囲9.33m、樹高20.00mの木幡山のシンボルで、周囲の杉・松の大木数十本は、蒲生氏郷が植栽したと伝えられています。

## ■隠津島神社本殿・拝殿【町指定重要文化財】

木幡山の山頂近くにあり、古くより木幡の弁天様として親しまれてきた神社。天正13年(1585)に伊達政宗の兵火により炎上しましたが、丹羽光重公らにより再建されました。現存する本殿、拝殿は寛政12年(1800)に丹羽長貴公により造営されたもので、平和、招福、文殊、縁結び等の神として信仰を集めています。

おきつしま  
**隠津島神社三重塔** 国重要文化財・昭和30年指定  
うっそうと杉の茂る木幡山中腹に、室町時代の文明4年(1472)に建立された三重塔。天正年間に兵火により全山が炎上した際もこの塔だけが難を逃れ、延宝2年(1674)に二本松藩主丹羽光重公により修復されています。現存する塔は、明治35年に大暴風で初層を残して倒壊した際に大修理されたもので、本県遺存の三重塔として貴重なものとなっています。